

第1回たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会小学校区部会（香島小学校）
議事録

日時 令和5年12月12日（火）
午後6時から
場所 香島小学校体育館研修室

1 開 会

2 報 告

（1） たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会の組織について【資料1～3】

3 議 事

（1） 部会長及び副部会長の選任について

部会長を小学校PTAの玉垣 育宏氏、副部会長を地区自治会の田中 一典氏とする。

（2） 今後のスケジュールについて【資料4】

（委員）

3kmという基準で考えると、同じ地区の中で、徒歩通学になる児童とバス通学になる児童とで別れてしまう場合は、どうするのか。

（事務局）

次回、スクールバスの経路等の素案を提案し、それからご意見をいただこうと考えている。

（委員）

スクールバスの経路や乗降場所等を保護者が検討する上で、バスの大きさや形など、すでに決まっていることがあれば知りたい。

（事務局）

変更はあるかもしれないが、バスの大きさは、26人・29人・45人乗りを想定している。

（3） 新宮地域小中一貫校における通学手段について【資料5】

＜質疑応答＞

（委員）

スクールバスの件についての話し合いは、何回あるのか教えてほしい。

(事務局)

令和5年度中は、本日を含めて2回を予定している。年度が変わり、委員が変更となっても協議の内容を引き継ぎ、継続した協議を行うこととしている。

(委員)

吉島地区に関して、徒歩通学対象を考えるとときに、待合場所が自宅なのか集会所なのかで変わってくると思うので、基本的な考え方を共有しておいた方が良いのではないかな。

(事務局)

次回、素案を基に協議したい。

(委員)

3km以内の集合場所となる自治会集会所は、香島地区でいくつあるのか。

(事務局)

原則に照らし合わせると吉島と下笹が対象となる。徒歩通学対象はおおむね3km以内であるので、安全面等を考慮しながら、通学手段の協議をしていきたい。

(委員)

放課後児童クラブの場所によって、帰りのスクールバスの在り方も考えないといけないと思う。

(事務局)

現時点では、帰りのバスは低学年分、高学年分の2便を考えている。放課後児童クラブのことは、今後、開校準備委員会で検討していく。

(委員)

スクールバスの利用は、保護者が費用を負担するのか。

(事務局)

保護者負担はなく、市で負担する。

(委員)

中学生のスクールバス利用は、西栗栖地区のみか。

(事務局)

西栗栖地区も中学生がスクールバスになると決まったわけではない。現在は、電車通学をしており、部活のことを考えれば電車通学の方が良い場合もある。中学生の生活を把握した上で決めていく。香島地区においても、場合によっては個別で話を伺う

が、基本は自転車通学となる。

(委員)

大谷地区は篠首の中でも奥の方になるが、大谷地区のバスの乗降場所はどうなるのか。

(事務局)

できれば自治会単位で考えているが、隣接する自治会をまとめたり、児童の安全面を考慮したりして素案を出すので、それに対して、ご意見をいただきたい。

4 その他

(委員)

放課後児童クラブは、どこに設置するのか。

(事務局)

教育委員会の考えは、小中一貫校に1か所設置することを基本として考えているが、香島地区からの要望があれば意見を聞きながら協議していく。参考ではあるが、他の自治体における小中一貫校の事例を確認してみると、複数の小学校が統合した場合においても放課後児童クラブは小中一貫校に1か所設置している。こういった先行事例も参考にしながら考えていきたい。

(委員)

各小学校の校旗や校歌など、小学校における思い出に関するものを掲示するブースを小中一貫校に設計してほしい。

(事務局)

小中一貫校にメモリアルルームを作る予定である。そこに各小学校のブースを作ろうと考えている。

(委員)

小中一貫校になってからの勉強やカリキュラム等、分からないことが多いので、そういった計画の見える化が必要だと思う。

(事務局)

小中一貫校でめざす子ども像や教育内容等は、新宮中学校区の小学校の先生方で協議を重ねているところである。また、小学校区部会の皆さまには、校舎設計について意見を出し合ってもらうワークショップに参加していただきたいと考えている。これは、小学4年生や学校の先生にも参加してもらうことを検討している。

(委員)

田舎暮らしをしたいという思いで引っ越しをされる方もいるので、そのあたりを市ホームページで広報してほしい。新宮地域が過疎地域に指定されたので、地域おこし協力隊の制度も活用してもらいたい。

(事務局)

新宮地域が魅力ある地域となるように、教育委員会だけでなく、庁内全体で取り組んでいきたい。

(委員)

自治会としてふるさと学習となるような行事を計画していきたい。

(事務局)

ぜひお願いしたい。

(委員)

小中一貫校の制服について、気にされている保護者が多いので、決まっていることがあれば教えてほしい。移行期間はあるのか。

(事務局)

まずは、制服の在り方協議として、制服の決め方から決めていくことになる。制服を新しく作るのか、移行期間をどうするのかについても検討していく。

(委員)

P T A会員からの質疑を集約し、次の部会に持ってくることは問題ないか。

(事務局)

構わない。即答できないことについては、持ち帰り、精査して回答する。

5 閉 会